

遊ぶ

安心して出掛けられる場所に にぎわい広げる取り組みも

現在、るなばあくには木馬のほか11台の小型遊具と、ひこうとう・まめきしゃ・まめじどうしゃ・くじらのなみのり・くるくるサーキット・メリーゴーランド・ウェーブスターライド・ミニヘリコプターの8つの大型遊具があります。入園は無料で、小型遊具は1回10円、大型遊具は1回50円。3歳以下の子どもに付き添う保護者は無料です。平日団体で利用する場合は前日までに予約をする



多くの人が利用

と、1人1日400円で大型遊具が乗り放題に。破格の安値にテレビや雑誌では「日本一安い遊園地」として取り上げられたほどです。市外や県外からの来園者も増加。年間120万人に利用されています。

土日曜・祝日は1日に3,000人も家族連れが訪れ、るなばあくの駐車場はすぐいっぱい。そこで、閉庁日で駐車台数に余裕がある市役所駐車場を活用しています。るなばあくで遊具利用券を買えば駐車料金は無料に。無料シャトルバスが20分間隔で走り、パークアンドライドを展開中です。

また、中心商店街で買い物をしたときにもらえる「Qのまち駐車券」は、遊具利用券と引き換えることも。街中とるなばあく双方の回遊性を積極的に高めています。

園内ではアイデアいっぱい 世代を越えた笑顔の交流が

園内では遊具にはない楽しさも味わってもらおうと、趣向を凝らしたアイデアがいっぱいです。手作りの遊び場は大人気で、落ち葉を集めたプールや厚手ボール紙の筒をつなげたトンネル、切り株の飛び石、プラントナーを並べた花の迷路などさまざま。子どもたちが思い思いに遊ぶ姿や、初めて出会った子ども同士でルールを作り楽しむ姿もうかがえます。また、温暖化防止のため緑化を進めようと、園内に花・緑を増やしてい

るほか、野菜も栽培。親子で興味深そうに観察したり収穫体験したりと、食育の場にもなっています。

るなばあくを一層盛り上げようと、土日曜・祝日には多くの市民ボランティアが訪れ、催しを開催。泥団子作りや昔遊び、ちんどんのにぎやかなど、懐かしいものも盛りだくさんです。普段味わえない感覚に、子どもも大人も驚き、喜び、うれしそう。温かみある市民交流の場にもなっています。



- ①何ができるかワクワク（親子バルーン教室）
- ②るなばあくを練り歩くぞ（子どもちんどん教室）
- ③自分でおもちゃが作れちゃった（昔の遊び）
- ④まあい折り紙に挑戦（折り紙教室）
- ⑤上手にできたよ（泥団子教室）
- ⑥じゃん・けん・ほん（切り株の飛び石）
- ⑦こんなにおっきいのがとれたぞ（収穫体験）
- ⑧お話の世界にひとつ飛び（読み聞かせとお話の会）
- ⑨みんなで踊っちゃえ（男性保育士と遊ぼう）

